

社会資本総合整備計画  
都市再生整備計画 事後評価シート  
八王子市中心市街地周辺地区

令和4年3月

東京都八王子市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	東京都		市町村名	八王子市		地区名	八王子市中心市街地周辺地区			面積	122ha		
交付期間	平成30年度～令和2年度		事後評価実施時期	令和3年度		交付対象事業費	1,033.4百万円	国費率	45.00%				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(北口マルベリーブリッジ)、高質空間形成施設(三崎町広場、中町広場、横山町広場、西放射線ユーロード)										
		提案事業	地域支援創造事業(明神町導水整備)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	高質空間形成施設(市道152号線)				市の単独事業として実施するため事業削除		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			なし	
		基幹事業	高質空間形成施設(市道154号線)				市の単独事業として実施するため事業削除					なし	
		基幹事業	高質空間形成施設(市道161号線)				市の単独事業として実施するため事業削除					なし	
		基幹事業	高質空間形成施設(市道162号線)				市の単独事業として実施するため事業削除					なし	
		基幹事業	高質空間形成施設(とちの木通り)				事業実施時期を変更するため削除					なし	
	新たに追加した事業	基幹事業											
		基幹事業											
		提案事業											
交付期間の変更	当初	H30年度～34年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
変更	H30年度～R2年度												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
	指標1	歩行者通行量	人/日	124,297	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
					平成28年度	令和2年度	—	107,431	△	あり			
	指標2	広場・ベンチ等の休憩施設の不足を感じている人の割合	%	36.9	平成28年度	34.4	令和2年度	—	30.8	○	あり	西放射線ユーロードとその沿線にある広場空間を高質化したことにより、広場空間が充足してきたと感じる人が増加し、指標の達成につながった。	—
											なし		
	指標3									あり			
指標4									あり				
指標5									あり				

3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数 値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
	その他の 数値指標1	なし		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の 数値指標2	なし											
	その他の 数値指標3	なし											
4)定性的な効果 発現状況	高質空間形成施設(三崎町広場、中町広場、横山町広場、西放射線ユーロード)の整備効果により中心市街地における広場・ベンチ等の休憩施設の不足を感じている人の割合は減少している。												
5)実施過程の評価				実施内容				実施状況				今後の対応方針等	
	モニタリング			目標や数値指標の変更を想定していないことや毎年実施している歩行者通行量調査等により都市再生整備計画に記載した目標の達成状況の確認を行っていたため、モニタリングは実施していない。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 都市再生整備計画に記載しておらず、実施しなかった				—	
	住民参加 プロセス			「八王子市中心市街地まちづくり方針」(H28.3)ならびに「八王子市中心市街地活性化基本計画」(H30.4)の策定にあたっては、中心市街地の商業者及び住民等を主な構成員とする「地区別勉強会」の開催やパブリックコメントの実施等、広く市民の意見を反映させるための取り組みを行った。また、都市再生整備計画で実施した事業は、本計画に位置付けられた事業である。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 都市再生整備計画に記載しておらず、実施しなかった				ハード・ソフト両面からまちづくりのグランドデザインを取りまとめた「八王子市中心市街地まちづくり方針」(H28.3)での「多様な人々が集い、暮らし、創造する中心市街地～わがまち八王子の再生を目指して～」という目標のもと、「多様な主体の協創によって実現するまちづくり」に向けた取り組みを実施していく。	
	持続的なまちづくり 体制の構築			八王子駅前北口西地区まちづくり検討会への支援の実施。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 都市再生整備計画に記載しておらず、実施しなかった				エリアマネジメント組織や再開発を含めた勉強会等のまちづくりの動きに対して継続的に支援を行う。	

## 様式2-2 地区の概要

八王子駅周辺地区(東京都八王子市) 都市再生整備計画事業の成果概要						
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
大目標: 都市拠点としての賑わいの再生と回遊性の向上による歩きやすいまちづくり 目標1: 歩行者ネットワークの整備による、更なる回遊性の向上 目標2: 憩える居場所を創出し、居心地のいいまちの形成	歩行者通行量	単位: 人/日	124,297 H28	127,600 R2	107,431 R2	
	広場・ベンチ等の休憩施設の不足を感じている人の割合	単位: %	36.9 H28	34.4 R2	30.8 R2	
		単位:				
		単位:				
		単位:				
まちの課題の変化	マルベリーブリッジの延伸及び西放射線ユーロード等の整備により八王子駅から八王子駅北口方面への回遊性を高める機能が整った。今後は西放射線ユーロードの歩行者を周辺区域に波及させるソフト・ハード整備や区域全体に対して目的となるハード整備が必要になる。 また、新型コロナウイルス感染拡大に伴う生活様式の変化により、従来から取り組まれている機能に限定しない新たな取り組みが必要になる。					
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	民間事業によるハード面の整備の誘導に加え、医療刑務所移転後用地に整備される集いの拠点整備による集客力の強化を図る。 マルベリーブリッジの更なる利便性向上や西放射線ユーロードのイベント活用等のハード・ソフトを合わせた取り組みにより、集客力・回遊性の維持・向上を図る。					